

第四十四号様式(第十条の四関係)(A4)

許可申請書(仮設建築物等)
(第一面)

建築基準法第 条 第 項の規定による許可を申請します。この申請書及び添付図書に記載の事項は、事実と相違ありません。

特定行政庁 様

年 月 日
申請者氏名

【1. 申請者】				
【イ. 氏名のフリガナ】				
【ロ. 氏名】				
【ハ. 郵便番号】				
【ニ. 住所】				
【ホ. 電話番号】				
【2. 設計者】				
【イ. 資格】 ()建築士 ()登録第 号				
【ロ. 氏名】				
【ハ. 建築士事務所名】 ()建築士事務所()知事登録第 号				
【ニ. 郵便番号】				
【ホ. 所在地】				
【ヘ. 電話番号】				
※手数料欄				
※受付欄	※消防関係同意欄	※決裁欄	※建築審査会同意欄	※許可番号欄
年 月 日				年 月 日
第 号				第 号
係員氏名				係員氏名

(第二面)

【1. 地名地番】

【2. 住居表示】

【3. 防火地域】 ☐防火地域 ☐準防火地域 ☐指定なし

【4. その他の区域、地域、地区又は街区】

【5. 主要用途】(区分)

【6. 工事種別】 ☐新築 ☐増築 ☐改築 ☐移転

【7. 構造】 造 一部 造

【8. 階数】 地上 地下

【9. 高さ】

 【イ. 最高の高さ】

 【ロ. 最高の軒の高さ】

【10. 敷地面積】

【11. 建築面積】 (申請部分)(申請以外の部分)(合計)

 【イ. 建築面積】 ()()()

 【ロ. 建蔽率】

【12. 延べ面積】 (申請部分)(申請以外の部分)(合計)

 【イ. 延べ面積】 ()()()

 【ロ. 容積率】

【13. 存続期間】 年 月 日まで

【14. 許可を要する理由】

【15. 備考】

(注意)

1. 各面共通関係

数字は算用数字を、単位はメートル法を用いてください。

2. 第一面関係

- ① 2欄は、設計者が建築士事務所に属しているときは、その名称を書き、建築士事務所
所に属していないときは、所在地は設計者の住所を書いてください。
- ② 2欄は、建築基準法第87条の3第3項、第6項又は第7項の申請を行う場合においては、
用途変更に係る工事の設計者について記入してください。
- ③ 設計者が2以上のときは、第一面は代表となる設計者について記入し、別紙に他の
設計者についてそれぞれ必要な事項を記入して添えてください。
- ④ ※印のある欄は記入しないでください。

3. 第二面関係

- ① 住居表示が定まっているときは、2欄に記入してください。
- ② 3欄は、該当するチェックボックスに「レ」マークを入れてください。なお、建築
物の敷地が防火地域、準防火地域又は指定のない区域のうち2以上の地域又は区域に
わたるときは、それぞれの地域又は区域について記入してください。
- ③ 4欄は、建築物の敷地が存する3欄に掲げる地域以外の区域、地域、地区又は街区
を記入してください。なお、建築物の敷地が2以上の区域、地域、地区又は街区にわ
たる場合は、それぞれの区域、地域、地区又は街区を記入してください。
- ④ 5欄は、別紙の表の用途の区分に従い対応する記号を記入した上で、主要用途をで
きるだけ具体的に記入してください。
- ⑤ 建築基準法第85条第6項又は第7項の申請を行う場合においては、6欄の該当する
チェックボックスに「レ」マークを入れてください。
- ⑥ 11欄の「ロ」及び12欄の「ロ」は、百分率を用いてください。
- ⑦ 建築物の名称又は工事名が定まっているときは、15欄に記入してください。